



メジャーフォレストリー株式会社は、山林の受託経営を主体とした会社です。

諸外国における人工林とは、循環型で持続可能な林業を実現して、安定的に収益を生むことから、ESG投資の対象であり、アセットマネジメントが成立しています。

一方、日本の人工林は、戦中戦後に拡大造林した山が多く、その多くが戦後初の大規模収穫期を迎えています。しかし日本特有の急峻で複雑な地質に加え、昨今の気候変動による集中豪雨が各地で発生するなか、多額の生産コストが発生しており、最先端の高性能林業機械を導入しても、補助金なしに、林業ビジネスは成り立たない現状です。

メジャーフォレストリー株式会社は、ハード面よりもソフト面の課題解決により、日本型林業を再構築したいと考えています。伝承される技術と最先端のIT技術の融合、そして環境価値の創造です。メジャーフォレストリー株式会社は、持続可能な日本型林業と補助金を必要としない山林アセットマネジメントを実現するために、日本初の林業メジャーを目指します。

代表取締役社長 佐藤 伸幸

許認可

- 国有林入札資格（全省庁統一資格）
- 福岡県林業経営体 PDF
- 福岡県意欲と能力ある林業経営者登録 PDF
- 大分県林業経営体 PDF
- 大分県認定林業事業体 PDF
- 大分県森林整備入札資格
- 合法木材供給事業者認定 大木連合法第256号 PDF
- 木質バイオマス証明材供給事業者認定 大木連発電第122号 PDF

社員保有資格一覧

- 林業技士（森林土木）
- 林業技士（森林評価士）
- 森林情報士（森林GIS1級）
- 測量士補
- 大分県森林作業道作設技術者
- IWA木材アドバイザー
- 次世代林業マイスター（鹿児島大学）
- 職長・安全衛生責任者
- 安全衛生推進者
- 伐木（チェーンソー）/刈払機作業
- 小型移動式クレーン運転者
- 玉掛け作業
- フォークリフト運転者
- 車両系建設機械（整地等）運転者
- 不整地運搬車運転者
- はい作業主任者
- 地山の掘削及び土止め支保工作業主任者
- 走行集材機運転者
- 架線集材機運転者
- 伐木等機運転者
- 高所作業車の運転者
- フルハーネス型墜落防止用器具使用従事者

会社概要

社名	メジャーフォレストリー株式会社
役員	代表取締役社長 佐藤 伸幸 取締役副社長 阿部 寛
住所	福岡本社：〒838-0804 福岡県朝倉郡筑前町森山1412番地2 ※ふくおか木質バイオマス発電所 敷地内 ※グリーンパークN&M（株） 筑前工場 内 大分支店：〒879-1313 大分県杵築市山香町大字久木野尾2002番地26 ※中山リサイクル産業（株）グリーンパーク杵築 内 ※令和6年4月に移転しました。
TEL/FAX	代表窓口 TEL：092-410-0168 福岡本社 TEL：0946-28-8080 FAX：0946-28-8484 大分支店 TEL：0977-76-5013 FAX：0977-28-1887
資本金	10,000,000円
従業員	6名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林の管理業務 ○ 森林経営計画、森林整備、森林作業道の立案、実施及び受託 ○ 森林の測量、調査及び評価に関する業務 ○ 山林、立木、原木の売買事業・育林業、造林業、素材生産業 ○ 木材及び木質燃料の流通、加工、運用 ○ 林業用種苗生産、配布業 ○ 講演会、各種セミナーによる情報提供業務及び各種研修の実施 ○ 前各号に関するコンサルティング業務 ○ 林業に付随する、土木、建築、造園工事業 ○ 古物営業法に基づく古物商（林業機械関連） ○ 前各号に附帯関連する一切の事業



会社沿革

- 平成28年 1月 中山リサイクル産業グループの木材等運搬会社として設立
- 令和2年 4月 現社名へ変更。事業内容を山林管理、林業全般に変更
- 令和2年 4月 地方自治体向け、林政業務コンサルティング参入
- 令和2年 6月 取締役に佐藤伸幸、阿部寛就任
- 令和3年 4月 大分県臼杵市にて初期森林経営計画認定
- 令和3年 4月 本社を福岡県朝倉郡筑前町へ移転
- 令和4年 1月 福岡県筑前町にて初期森林経営計画認定
- 令和4年 4月 筑前町林業振興プランナー業務を開始
- 令和4年 6月 スマート林業の全国展開に向けた導入支援事業に採択
- 令和5年 7月 管理山林面積 500 ヘクタールを達成
- 令和6年 3月 林業経営育成資金にかかる林業経営改善計画認定（福岡県）

管理山林面積

- 森林経営計画認定面積 令和6年4月時点
- 大分県 259ヘクタール（人工林174ヘクタール）
 - 福岡県 195ヘクタール（人工林134ヘクタール）
 - 中山グループ保有山林 約150ヘクタール



中山リサイクル産業グループとのシナジー効果

中山リサイクル産業（株）は、平成元年の創業以来「木材」に特化したリサイクル事業に取り組んで参りました。需要の増加する木質バイオマス燃料製造に力を入れており、九州各県に10拠点有しております。グループ全体の木質チップ生産量は約30,000トン/月あり、九州トップの生産量を誇り、多数の需要家へチップ供給を実施しております。

我々、メジャーフォレストリー株式会社は、グループ各拠点への原料供給以外に、森林・林業の専門家として各入札案件、山林売買案件、FIT制度に対応したバイオマス証明管理等のアドバイザー業務を実施しております。

グループ各社と、各種林業機械・移動式破砕機・運搬車両について連携を図ることで、様々なシナジー効果を発揮しています。

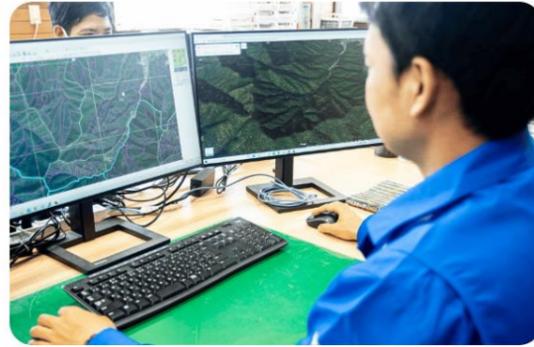


各事業の取り組みについて

メジャーフォレストリー株式会社は、林業界のゲームチェンジャーとして、地方自治体への林政コンサルティングから森林の受託経営（森林経営計画）、コントラクターとして伐採から造林までを一括管理し、採取した森林資源の原木流通・チップ加工・薪製造まで、森林に係るサービスを一通りで提供しております。詳しくは、各事業ページをご覧ください。

林政コンサルティング事業

地方自治体の林政業務を担う皆様をサポート。ヒアリングに基づき地域に寄り添った、提案型のサービスを提供いたします。



森林の受託経営事業

小規模分散した林地の集約化事業を展開しています。所有者の皆様へ、森林の長期受託契約と土地を含めた売買を選択できるサービスを提供しています。森林における“経済効果”と“環境効果”を最大化することを目指します。



林業コントラクター事業

大型入札案件、大規模森林整備等において、クライアントから事業を一括で請負、測量・設計業務から計画的な作業工程を作成し、業種別のプロフェッショナルプレイヤーに業務を分散発注。現場監督者として施工管理を実施致します。



木材サプライチェーン事業

素材生産事業に伴う原木流通に留まらず、主伐時に発生する枝葉を移動式破砕機により加工した燃料チップ流通、広葉樹を主体とした薪製造販売事業を実施しています。



歴史を受け継ぎ未来へつなぐ

メジャーフォレストリー株式会社は、小規模分散した林地の集約化事業を展開しています。山林を所有される皆様と「森林経営受託契約（10年間）」を締結するパターンと、山林譲渡（有償・無償）により、メジャーフォレストリー株式会社の社有林として長期的に森林整備を実施するパターンがございます。



一 災害に強く、繰り返し使える作業道開設事業



効率的かつ持続的な森林整備を行うためには林道（森林作業道）の整備が必要不可欠です。安全性と経済性を確保しつつ、地形を活かした設計を行い、地質、傾斜などを踏まえて、災害に強く、繰り返し使える作業道を開設致します。

森林内の作業道が適正に整備されることで、丸太の搬出、機械の移動が容易になり、生産性が向上し大規模且つ長期的な森林整備が可能になります。また、間伐だけでなく、主伐後の造林時にも使える道を作ることで、その後の森林整備においても、作業員が作業地まで車で移動することができ、資機材も機械運搬が可能となります。

一 適正な森林環境を実現するための間伐事業



森林を荒廃させずに保育・成長させるためには、適度な伐採が必要です。木々が密集し過ぎてしまい、太陽の光が届かなければ、森林は成長できません。

森林は成長過程で間引きが必要になります。このような伐採作業を間伐と言います。間伐を実施することで、森林環境が適正に保たれ、公益的機能が発揮されます。

各種補助金制度を活用した搬出間伐を主とし、搬出された原木丸太は建材や木質バイオマスとして活用します。

一 林業における収穫作業である主伐事業



収穫時期を迎えた森林は一定の範囲にまとめ、計画的に伐採をします。これを主伐（全伐）と言います。主伐作業は、林業における収穫作業になります。収穫された木は、原木丸太となって、建築資材などの様々な建材へと生まれ変わります。

森林経営管理、素材生産（伐採）、原木流通、木質バイオマス燃料利用までを一貫して行うことで、トータルコストを削減し、森林の資産的価値を向上し、環境に配慮した木材生産を実現します。

一 次の世代に豊かな森を残す、植林・保育事業



豊かな森林資源を未来に残していくためには、伐採後に新たな苗木を植林する必要があります。森林のサイクル（造林）は「植林」によってスタートします。

造林とは、森林に苗木を植栽し、成木になるまで育てていくことをいい、人の手で造成された森林は人工林と呼ばれ、継続的な管理が必要になります。

主伐～再造林の作業を一貫して計画・実施することで、資機材の共用利用が可能になり、森林内の未利用材（枝葉等）をバイオマス発電用燃料にチップ加工・流通することで、再造林に掛かるコストを削減します。

一 原木流通



一 現地破砕チップ流通



一 薪製造と販売流通

